
中心市街地活性化基本計画 令和3年度最終フォローアップ報告

令和4年7月

内閣府地方創生推進事務局

目 次

I. 中心市街地活性化基本計画 令和3年度最終フォローアップの概要	1 ページ
II. 目標指標分野別分析結果の概要	3 ページ
(1) 集計結果	
(2) 取組の進捗状況	
(3) 目標達成の状況	
(4) 基準値からの改善状況	
III. 計画期間終了後の中心市街地の状況	8 ページ
(1) 進捗・完了状況及び活性化状況について	
(2) 中心市街地活性化協議会の評価について	
(3) 市民からの評価、市民意識の変化について	
IV. 取組の進捗・完了状況及び目標達成状況に関する各自治体からの報告	10 ページ

※好事例集については、別途とりまとめ内閣府ホームページにて公表します。

I. 中心市街地活性化基本計画 令和3年度最終フォローアップの概要

最終フォローアップについて

- 国の認定を受けた中心市街地活性化基本計画では、各自治体が複数の目標を掲げている。各目標においては、その達成状況を的確に把握できるよう、定量的な指標（目標指標）を設定している。
- 当該基本計画については、各自治体自ら計画期間満了後に、関連する事業等が予定どおり完了したのか、目標は達成されたのか等を自己評価（最終フォローアップ）として報告することとしている。
- 令和3年度の最終フォローアップの対象となる15市の15計画では、合計60の目標指標が設定されており、関連する事業等をもって目標達成に向けた取組が行われてきたところであり、その評価結果をとりまとめる。

令和3年度最終フォローアップ対象計画

15市 15計画 60指標（詳細はP.10に掲載）

【参考：令和2年度】21市 21計画 69指標

取組の進捗状況と目標達成状況に関する集計結果

- 最終フォローアップ対象60指標のうち、計画当初（基準値）より改善した指標は24指標（40%）、関連する事業等が概ね予定どおり完了した指標は50指標（83%）であった。
- 関連する事業等が概ね予定どおり完了し、かつ計画当初（基準値）より改善した指標は23指標となっている。

	関連事業が概ね予定どおり完了した	関連事業が予定どおり完了しなかった	合計
計画当初より改善	23指標（38%） 〔30指標（45%）〕	1指標（2%） 〔2指標（3%）〕	24指標（40%） 〔32指標（48%）〕
うち目標達成	13指標（22%） 〔16指標（25%）〕	0指標（0%） 〔1指標（1%）〕	13指標（22%） 〔17指標（26%）〕
計画当初より悪化	27指標（45%） 〔25指標（38%）〕	9指標（15%） 〔9指標（14%）〕	36指標（60%） 〔34指標（52%）〕
合計	50指標（83%） 〔55指標（83%）〕	10指標（17%） 〔11指標（17%）〕	60指標（100%） 〔66指標（100%）〕

※表中の〔 〕は令和2年度の状況

（参考）＜最終フォローアップにおける取組の進捗状況及び目標達成状況の分類＞

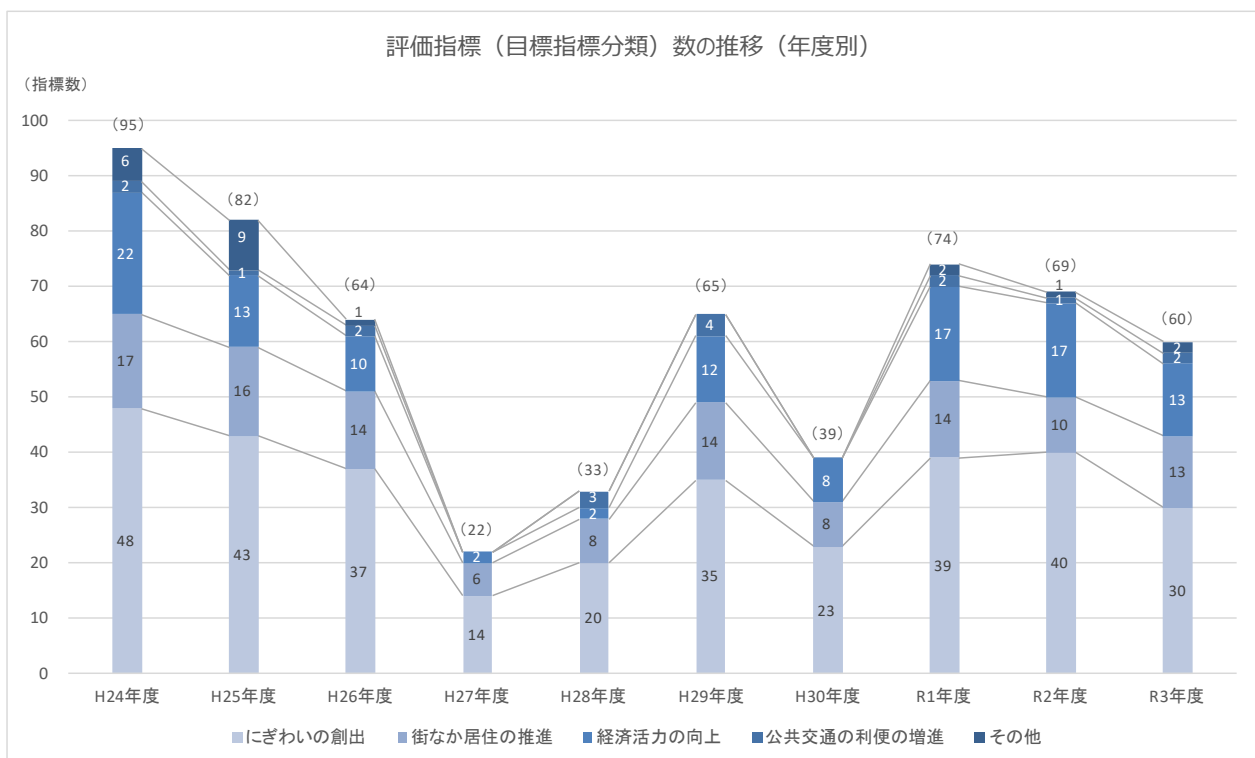
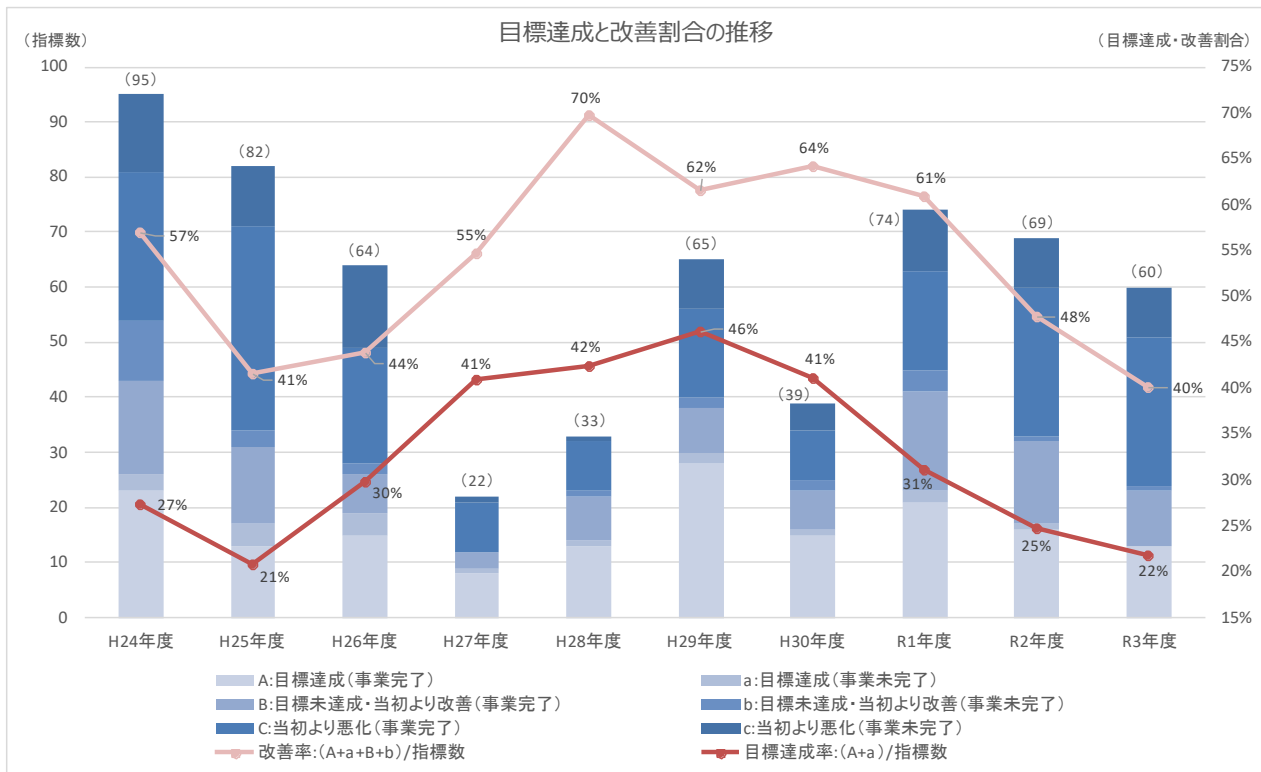
- A 目標達成（関連する事業等は概ね予定どおり完了）
 - a 目標達成（関連する事業等は予定どおり完了しなかった）
- B1 基準値から目標値までの幅の8割ラインを超えている（関連する事業等は概ね予定どおり完了）
 - b1 基準値から目標値までの幅の8割ラインを超えている（関連する事業等は予定どおり完了しなかった）
- B2 基準値より改善しているが、基準値から目標値までの幅の8割ラインには及ばない（関連する事業等は概ね予定どおり完了）
 - b2 基準値より改善しているが、基準値から目標値までの幅の8割ラインには及ばない（関連する事業等は予定どおり完了しなかった）
- C 基準値に及ばない（関連する事業等は概ね予定どおり完了）
 - c 基準値に及ばない（関連する事業等は予定どおり完了しなかった）

評価指標数と目標達成状況の推移

令和4年7月現在、累計149市3町265の中心市街地活性化基本計画が認定を受け、そのうち138市208計画について、計画期間終了後に最終フォローアップ報告書を作成している。

(次の計画期間に入っている自治体を含む。)

最終フォローアップにおける、各計画の評価指標（目標指標分類）数と目標達成状況の推移は以下のとおり。



II. 目標指標分野別分析結果の概要

各自治体が最終フォローアップを行った目標指標を5分野に分類し、各分野の取組の進捗状況、目標達成状況、基準値からの改善状況等について分析した。

(1) 集計結果

目標指標分野別集計結果

- 各自治体が最終フォローアップを行った目標指標に係る取組の進捗・完了状況及び目標達成の状況等について、以下の①～⑤の5つに分類した上で集計を行った。

達成状況	全体	①にぎわいの創出	②街なか居住の推進	③経済活力の向上	④公共交通の利便の増進	⑤その他
A	13	3	2	7	0	1
a	0	0	0	0	0	0
B1	2	1	1	0	0	0
b1	0	0	0	0	0	0
B2	8	3	3	2	0	0
b2	1	0	0	1	0	0
C	27	15	6	3	2	1
c	9	8	1	0	0	0
合計	60	30	13	13	2	2

<達成状況の分類>

- A 目標達成（関連する事業等は概ね予定どおり完了）
- a 目標達成（関連する事業等は予定どおり完了しなかった）
- B1 基準値から目標値までの幅の8割ラインを超えている（関連する事業等は概ね予定どおり完了）
- b1 基準値から目標値までの幅の8割ラインを超えている（関連する事業等は予定どおり完了しなかった）
- B2 基準値より改善しているが、基準値から目標値までの幅の8割ラインには及ばない（関連する事業等は概ね予定どおり完了）
- b2 基準値より改善しているが、基準値から目標値までの幅の8割ラインには及ばない（関連する事業等は予定どおり完了しなかった）
- C 基準値に及ばない（関連する事業等は概ね予定どおり完了）
- c 基準値に及ばない（関連する事業等は予定どおり完了しなかった）

<目標指標分野の分類基準と主な取組例>

目標指標分類	主な目標指標
①にぎわいの創出	歩行者・自転車通行量、観光・文化施設利用者数 等
②街なか居住の推進	居住人口、社会増減、市全体の人口に対する中心市街地の人口の割合 等
③経済活力の向上	空き店舗数、新規創業数、小売業年間商品販売額 等
④公共交通の利便の増進	駅乗降客数 等
⑤その他	上記以外の指標として、令和3年度は、「中心市街地の健康な高齢者の割合」が最終フォローアップの対象となっている。

(2)取組の進捗状況

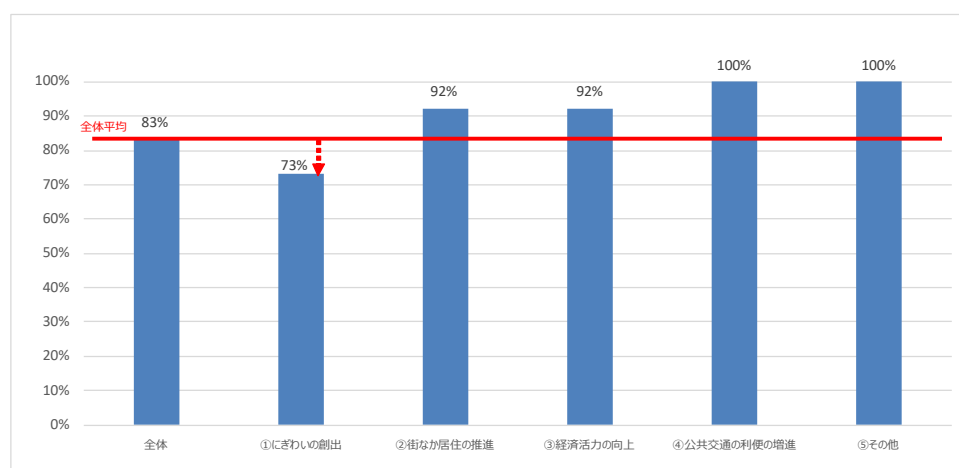
取組の進捗状況に関する分析結果

- 「にぎわいの創出」に関係する取組が順調な割合は、全体平均よりも低い。新型コロナウイルスの感染拡大により、イベントの中止、公共施設等の利用制限などが影響したものと考えられる。

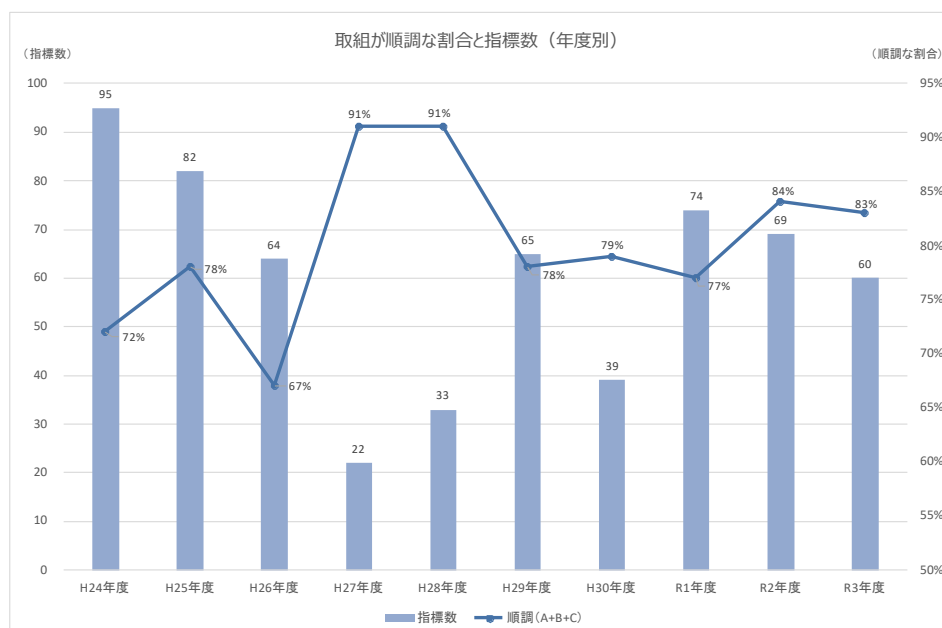
<各目標指標分野の取組の進捗状況の割合>

	全体	①にぎわいの創出	②街なか居住の推進	③経済活力の向上	④公共交通の利便の増進	⑤その他
①順調 (A+B+C)	50	22	12	12	2	2
②順調でない (a+b+c)	10	8	1	1	0	0
合計 (③=①+②)	60	30	13	13	2	2
取組が順調な割合 (①/③)	83%	73%	92%	92%	100%	100%

<目標指標分野別の取組が順調な割合>



<参考：年度別の取組が順調な割合と指標数>



(3)目標達成の状況

目標達成状況に関する分析結果

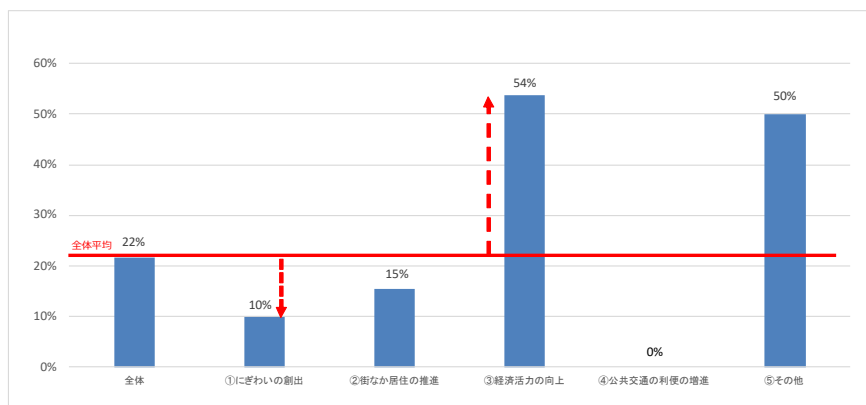
- 目標を達成した目標指標は、全体の22%である。（令和2年度 25%）
- ①～⑤の目標指標分類のうち、「経済活力の向上」に関する目標指標は、目標達成もしくは概ね目標達成した目標指標の割合が全体平均よりも高い。新規出店に関する取組の効果によるものと考えられる。
- 一方、「にぎわいの創出」については、新型コロナウイルスの感染拡大によるイベントの中止、公共施設等の利用制限などが影響し、全体平均を下回ったものと考えられる。

<各目標指標分野の目標達成状況>

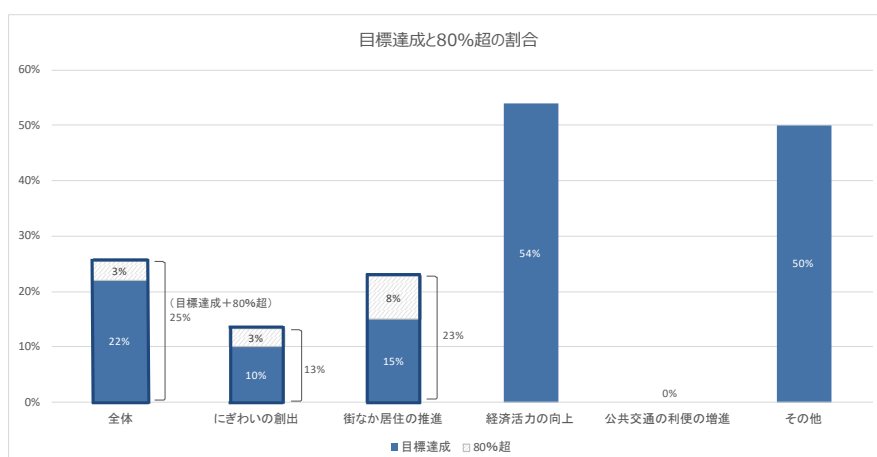
	全体	①にぎわいの創出	②街なか居住の推進	③経済活力の向上	④公共交通の利便の増進	⑤その他
①目標達成 (A + <u>a</u>)	13	3	2	7	0	1
②未達成 (B + <u>b</u> + C + <u>c</u>)	47	27	11	6	2	1
合計 (③=①+②)	60	30	13	13	2	2
目標達成率 (①/③)	22%	10%	15%	54%	0%	50%
④概ね目標達成※ (A + <u>a</u> + B1 + <u>b</u> 1)	15	4	3	7	0	1
概ね目標達成率 (④/③)	25%	13%	23%	54%	0%	50%

※ B, bのうち目標値を達成していないが、その80%を超えるものをB1, b1とする。

<目標指標分野別目標達成率の比較>



<目標達成と概ね目標達成（80%超）の割合>



目標が達成できなかった主な要因

- 目標が達成できなかった 47 指標の主な要因は、次のとおりである。
 - ①事業の遅延または未着手により、計画期間内に効果が発現しなかった。
 - ②事業は概ね予定通りに進捗したものの、当初想定していた効果が得られなかったことや、外的な要因により効果が相殺された。

令和 3 年度においては、依然として新型コロナウイルスの感染拡大が影響し、外出自粛、イベントの中止、公共施設等の利用制限が発生したため、多くの自治体において目標指標の達成に影響が出ている。

- その他の、目標が達成できなかった要因の具体例については、下記のとおりである。

①の具体例について

- ・ 事業実施にあたり、地権者や民間事業者との合意形成が得られなかった。
- ・ 事業内容の見直しや調整に時間を要した。

②の具体例について

- ・ 民間事業者と連携し事業の情報発信を行うことで補助金の活用を促したが、中心市街地は周辺部に比べ比較的地価が高いことも影響し居住人口の増加につながらなかった。
- ・ 当事業における取り組み内容の周知が不十分であったため、事業への参加者の増加につながらなかった。
- ・ 共同住宅の建設可能な土地の減少や居住誘導区域全体への居住施策の強化により中心市街地内での実績が伸び悩んだ。
- ・ 開業支援に関する事業を活用した飲食店や物販店の開業があり、空き店舗件数は減少し、取り組みに一定の成果があったが、店主の高齢化などによる閉店、住居化などにより商店数は減少し、想定していた効果は得られなかった。

計画変更により状況が改善した主な例

- 計画変更により状況が改善したとされた具体例については、以下のとおりである。
 - ・ 空き店舗等への出店にかかる費用に対する補助制度で、当初設定していた事業内容では限定的だった該当店舗やエリアを、内容を見直し、エリアや対象業種の拡大、対象営業時間の撤廃など補助要件を緩和することにより、計画策定以前の実績を上回るペースで制度が活用され、中心市街地の空き店舗解消、にぎわい創出に寄与した。（目標値の 3 倍強の件数を達成。）

（参考）

- ・ 空き店舗を活用した起業・開業支援、市外からの移転支援として家賃補助や改修補助を行う事業を拡充し、新型コロナウイルス感染症拡大後の新しい働き方を見据えて、サテライトオフィスを開設する市外の事業者に対し改修に係る経費の一部補助を支援内容に追加した。

(4)基準値からの改善状況

基準値からの改善状況に関する分析結果

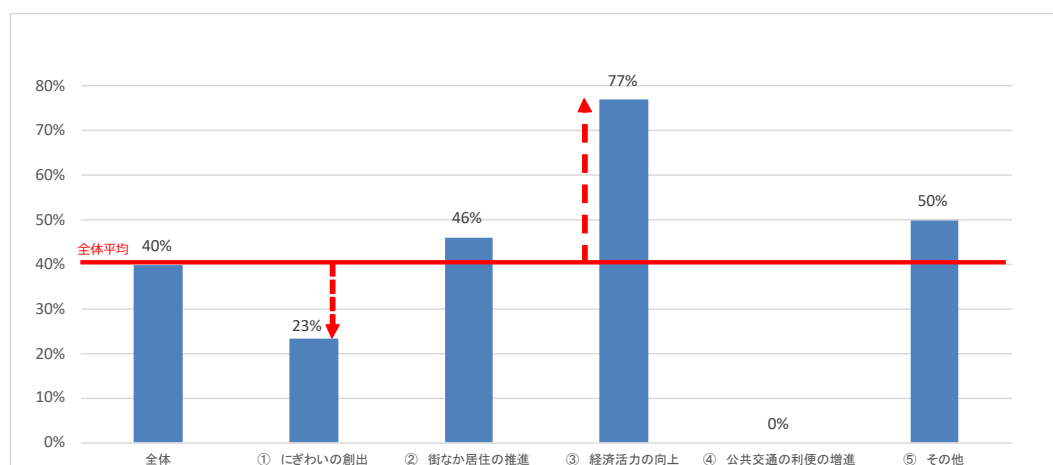
- 現況（実績値）が計画当初の状況（基準値）より改善している目標指標は、全体の40%である。（令和2年度 48%）
- 特に「経済活力の向上」に関する目標指標は、実績値が基準値から改善している目標指標の割合（基準値改善率）が全体平均を大きく上回っている。新規出店・空き店舗の解消に関する取組の効果によるものと考えられる。
- 一方、「にぎわいの創出」については、新型コロナウイルスの感染拡大によるイベントの中止、公共施設等の利用制限などが影響し、全体平均を下回ったものと考えられる。

<各目標指標分野の改善状況>

	全体	①にぎわいの創出	②街なか居住の推進	③経済活力の向上	④公共交通の利便の増進	⑤その他
①基準値より改善 (A + a + B + b)	24	7	6	10	0	1
②基準値より悪化 (C + c)	36	23	7	3	2	1
合計 (③=①+②)	60	30	13	13	2	2
基準値改善率 (①/③)	40%	23%	46%	77%	0%	50%
上記のうち、 取組の進捗が 順調だったもの	①'基準値より改善 (A + B)	23	7	9	0	1
	②'基準値より悪化 (C)	27	15	6	2	1
	合計 (③' = ①' + ②')	50	22	12	2	2
	基準値改善率 (①' / ③')	46%	32%	50%	0%	0%

※取組の進捗状況及び目標達成状況の分類（P1参照）のうち、「現況（実績値）が計画当初の状況（基準値）より改善している」ものは、A、a、B1、b1、B2及びb2が該当する。

<目標指標分野別基準値改善率の比較>



Ⅲ. 計画期間終了後の中心市街地の状況

各自治体が市街地の状況や中心市街地活性化協議会及び市民の意見等を参考に、計画した事業が順調に完了したかどうか、また、中心市街地という単位で活性化が見られたかどうかについて総合的な判断を行った。

(1) 事業の進捗・完了状況及び活性化状況に係る自治体の評価について

- 対象15市15計画のうち13計画について、計画した事業が概ね予定通り進捗・完了したと判断している。
- 対象15市15計画のうち12計画について、各自治体の自己評価により中心市街地の活性化が見られたとされている。

【事業の進捗・完了状況】

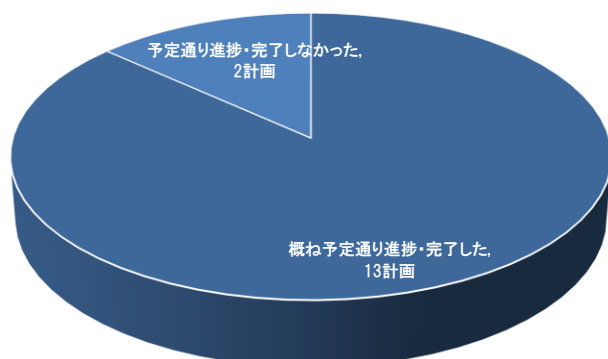
(計画期間終了後の状況)	概ね予定通り進捗・完了した	予定通り進捗・完了しなかった
計画数(全15計画)	13計画	2計画

【活性化状況】

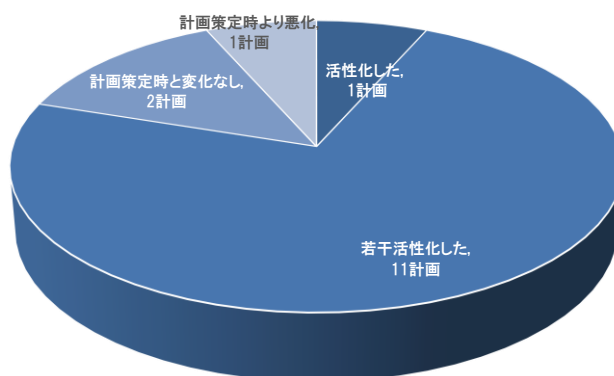
(計画期間終了後の状況)	活性化した	若干活性化した	計画策定時と変化なし	計画策定時より悪化
計画数(全15計画)	1計画	11計画	2計画	1計画

※計画した事業は予定通り完了したのか、また中心市街地の活性化は見られたのかを、個別指標毎ではなく、総合的に自治体が判断したもの。

【事業の進捗・完了状況】



【活性化状況】

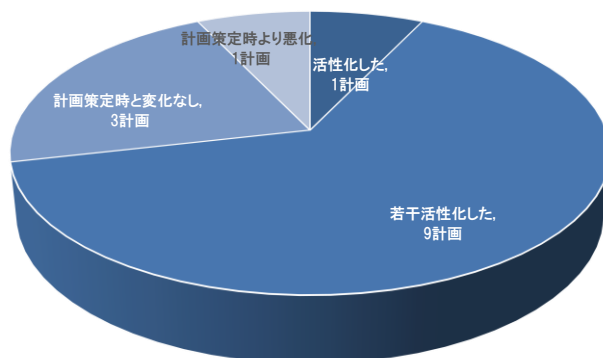


(2) 中心市街地活性化協議会の評価について

- 対象 14 市 14 計画のうち 10 計画について、各自治体の中心市街地活性化協議会により中心市街地の活性化が見られたとされている。（本報告書とりまとめ時点で、東近江市は協議会の評価を聴取していないため、対象は 14 市 14 計画となる。）

(計画期間終了後の状況)	活性化した	若干活性化した	計画策定時と変化なし	計画策定時より悪化
計画数（全14計画）	1計画	9計画	3計画	1計画

※中心市街地という単位で活性化が見られたかどうかを中心市街地活性化協議会として判断。

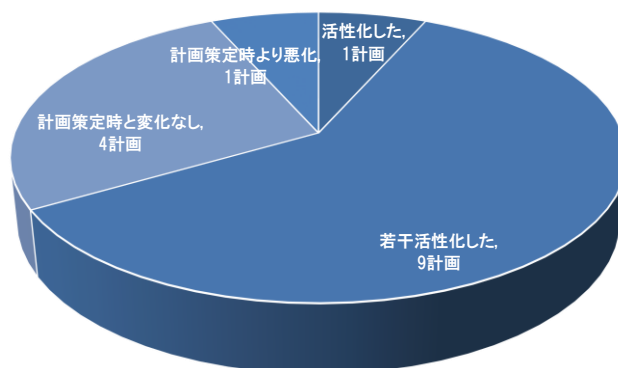


(3) 市民からの評価、市民意識の変化について

- 対象15市15計画のうち10計画について、各自治体の市民により中心市街地の活性化が見られたとされている一方、1計画については計画策定時より悪化したとされている。

(計画期間終了後の状況)	活性化した	若干活性化した	計画策定時と変化なし	計画策定時より悪化
計画数（全15計画）	1計画	9計画	4計画	1計画

※中心市街地の活性化状況について市民意識調査等により市民の声を聴取し、市民意識の変化を総合的に判断。



V. 取組の進捗・完了状況及び目標達成状況に関する各自治体からの報告

都道府県名	市町村名	目標	目標指標	達成 状況	進捗・完了 状況	活性化状況			
						自治体評価	中活協議会 評価	市民 評価	
平成28年3月15日認定									
宮崎県	小林市	安定した雇用を創る	新規開業事業所の増加	A	①	②	②	②	
		新しい人の流れを創る	休日歩行者・自転車通行量・自転車通行量	c					
		快適に暮らせるまちを創る	居住人口	C					
青森県	弘前市	来街者を増やす	歩行者・自転車通行量(平日と休日の平均)	C	①	④	④	④	
		空き店舗を減らす	中心商店街空き店舗率	C					
		観光客を増やす	中心市街地観光施設等利用者数	C					
静岡県	静岡市	居住者を増やす	市全体に占める中心市街地の居住人口の割合	A	①	②	③	③	
		「わくわくドキドキ」にぎわいと活力のまち	【静岡地区】主要な通りの店舗・事業所数	A					
		「わくわくドキドキ」にぎわいと活力のまち	【清水地区】観光客数	C					
兵庫県	伊丹市	「わくわくドキドキ」にぎわいと活力のまち・「てくてくらくら」にぎわいと	【静岡地区】歩行者通行量	C	①	②	②	①	
		「わくわくドキドキ」にぎわいと活力のまち・「てくてくらくら」にぎわいと	【清水地区】滞在時間	C					
		「歩いて楽しい、文化の香り高い郷町(まち)なか」	文化施設利用者数	C					
沖縄県	沖縄市	「まちの魅力を高め、訪れたい郷町(まち)なか」	中心市街地空き店舗数	C	①	②	②	①	
		「まちの魅力を高め、訪れたい郷町(まち)なか」	2軸における歩行者・自転車通行量	C					
		「もてなし心のある、住みたい郷町(まち)なか」	中心市街地における居住人口	B2					
東京都	府中市	まちなか交流の促進によるにぎわいの創出	歩行者通行量(休日)	C	①	②	②	②	
		まちなか交流の促進によるにぎわいの創出	観光関連施設の入込客数	B2					
		中心市街地全体としての付加価値の向上による生活環境の改善	都市福祉施設の年間利用者数	C					
平成28年6月17日認定									
東京都	府中市	経済活力の向上(商業の活性化)	大規模商業施設年間販売額	C	①	②	②	②	
		回遊性の創出(地域資源の活用)	東京競馬場タイアップ年間利用組数	C					
		市民交流の増進(都市機能の増進)	公共施設年間利用者数	A					
平成28年11月29日認定									
島根県	雲南市	購買力流出の抑制	中心市街市の新規出店数	A	①	②	②	②	
		定住人口の増加	中心市街地の人口	C					
		交流人口の増加	中心市街地で実施するまなカー市の年間入込客数	c					
福井県	越前市	まちの顔づくり	市民交流施設の利用者数	A	①	②	②	②	
		暮らしの再生	施策による移住者数	B1					
		にぎわいの再生	活性化に寄与する市民活動の回数	A					
平成29年3月24日認定									
滋賀県	東近江市	暮らし続けたいと思えるまち	市全体に占める中心市街地内人口の割合	B2	①	②	②	②	
		歩いて楽しい回遊性の高いまち	歩行者・自転車通行量(平日)	B2					
		歩いて楽しい回遊性の高いまち	歩行者・自転車通行量(休日)	B2					
福岡県	大牟田市	様々な世代が訪れたいと思える魅力ある店舗の集積するまち	八日市駅周辺及び商店街での新規出店事業者数	A	②	②	②	③	
		拠点への来訪者の拡大	交流施設等の年間利用者数	c					
		空き店舗の解消	商店街の空き店舗数	b2					
鹿児島県	奄美市	交流人口の拡大	歩行者通行量	c	②	③	③	③	
		居住人口の拡大	中心市街地活性化エリアの居住人口	c					
		来る人を増やす「いも一れ」	主要9通りにおける営業店舗数	B2					
秋田県	秋田市	観光客を中心市街地へ呼び込む「Comeも一れ」	中心市街地内の年間宿泊者数	C	①	②	②	②	
		人が触れ合う「ゆていも一れ」	公共施設の利用者数	c					
		行ききたい街	歩行者・自転車通行量(平日・休日の平均)	c					
富山県	富山市	行ききたい街	芸術文化施設利用者数(1日当たり)	c	①	③	③	②	
		住みたい街	中心市街地における人口の社会増加数(累計)	B2					
		活力ある街	商業集積促進関連制度利用件数(累計)	A					
富山県	高岡市	活力ある街	市民活動等施設利用件数	C	①	③	③	③	
		公共交通の強化と魅力ある都市空間の創出	路面電車一日平均乗車人数	C					
		伝統と革新が融合した商業・賑わいの再生	中心商業地区及び富山駅周辺地区の歩行者通行量(日曜日)	B1					
石川県	金沢市	誰もが生き生きと暮らし活躍している選ばれるまち	中心市街地の居住人口の社会増加	A	①	②	②	②	
		誰もが生き生きと暮らし活躍している選ばれるまち	中心市街地の健康な高齢者の割合(前期高齢者)	A					
		誰もが生き生きと暮らし活躍している選ばれるまち	中心市街地の健康な高齢者の割合(後期高齢者)	C					
石川県	金沢市	交流人口の拡大	主要観光施設における観光客入込み数	c	①	②	②	②	
		交流人口の拡大	中心市街地・観光地周辺における新規店舗数	C					
		まちなか居住と生活サービス・事業創出機能の充実	中心市街地における居住人口の社会増減数	C					
石川県	金沢市	まちなか居住と生活サービス・事業創出機能の充実	中心市街地・観光地周辺における新規店舗数	A	①	②	②	②	
		まちなかの定住者を増やす	中心市街地の45歳未満人口の年間社会動態	C					
		まちなかの定住者を増やす	まちなか住宅支援制度の活用による県外からの移住者数	C					
石川県	金沢市	幅広い年代を対象とする魅力ある商業環境を作る	商店街店舗の新規出店数	B2	①	②	②	②	
		公共交通を優先したまちなかの交通環境を整える	バス乗客者数	C					
		歴史文化資産を活かし市民・来街者を引きつける	中心市街地の市文化施設(14施設)の利用者数	C					
石川県	金沢市	歴史文化資産を活かし市民・来街者を引きつける	外国人入込客数	C	①	②	②	②	
		歴史文化資産を活かし市民・来街者を引きつける	中心市街地の市文化施設(14施設)の利用者数	C					
		歴史文化資産を活かし市民・来街者を引きつける	外国人入込客数	C					

<各目標の達成状況> (自治体評価)

- A 目標を達成した。(計画した事業は概ね予定どおり完了した。)
- a 目標を達成した。(計画した事業は予定どおりには完了しなかった。)
- B1 目標を達成していないが、計画当初の状況(基準値)から目標までの幅の8割ラインを超えている。(計画した事業は概ね予定どおり完了した。)
- b1 目標を達成していないが、計画当初の状況(基準値)から目標までの幅の8割ラインを超えている。(計画した事業は予定どおりには完了しなかった。)
- B2 計画当初の状況(基準値)より改善しているが、目標までの幅の8割ラインには及ばない。(計画した事業は概ね予定どおり完了した。)
- b2 計画当初の状況(基準値)より改善しているが、目標までの幅の8割ラインには及ばない。(計画した事業は予定どおりには完了しなかった。)
- C 基準値に及ばない。(計画した事業は概ね予定どおり完了した。)
- c 基準値に及ばない。(計画した事業は予定どおりには完了しなかった。)

<事業の進捗・完了状況> (自治体評価)

- ① 概ね予定通り進捗・完了した
- ② 予定通り進捗・完了しなかった

<活性化状況> (自治体評価、中心市街地活性化協議会評価、市民評価)

- ① 活性化した
- ② 若干活性化した
- ③ 計画策定時と変化なし
- ④ 計画策定時より悪化